

1/35 アメリカ中戦車 M4 シャーマン後期型 "FAY"

組立てを始める前にお読みください。

READ BEFORE BUILD

この説明書は 1/35 アメリカ中戦車 M4 シャーマン後期型 "FAY" の組立説明書です。別紙 [I.F.S.] は自由な発想で組み立てていただくパーツの組立説明書です。オリジナリティを生かしたモデリングにも挑戦してみてください。

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.



本説明書記載の塗装色指示は参考色です。お手元の資料などお好みで塗装して下さい。

- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットして下さい。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

Mark guide **X** Do not cement and attn moving. **!** Pay attention. **?** Choose type of vehicle.

《エッチングパーツについて》

- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(緊き目)の部分をヤスリなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。

■ カラーナンバー対応表 ※近似色です

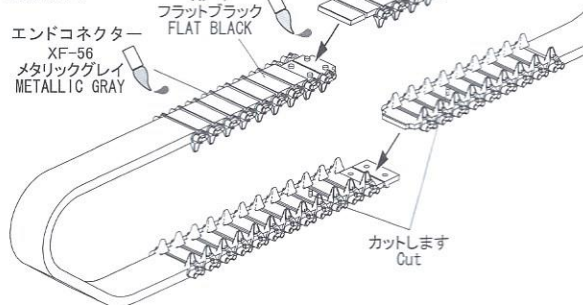
タミヤカラー	GSiクレオス・Mr.カラー	タミヤカラー	GSiクレオス・Mr.カラー
X-7 レッド	③ レッド	XF-10 フラットブラウン	⑬ 赤褐色
X-10 ガンメタル	⑳ 黒鉄色	XF-15 フラットフラッシュ	⑤① 肌色(フラッシュ)
X-11 クロムシルバー	⑧ シルバー	XF-51 カーキドラブ	⑤④ カーキグリーン
X-12 ゴールドドリーム	⑨ ゴールド	XF-55 テックタン	④④ タン
XF-1 フラットブラック	③③ つや消しブラック	XF-56 メタリックグレイ	⑳ 黒鉄色+ ⑧⑧ フラットベース
XF-2 フラットホワイト	③③ つや消しホワイト	XF-60 ダークイエロー	③⑨ ダークイエロー
XF-6 コッパー	⑩⑩ カッパー	XF-62 オリブドラブ	③⑧ オリブドラブ2

XF-62 **オリブドラブ** 組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリブドラブ)です。
OLIVE DRAB Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

1 キャタピラの組立 Track assembly

接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。
Assemble the track with plastic model cement.

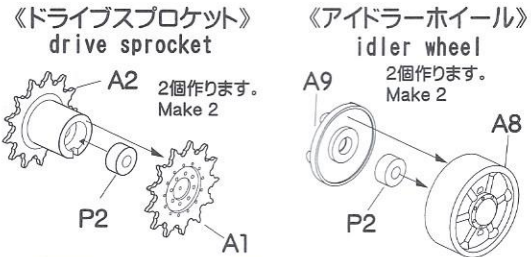
2個作ります。
Make 2



- キャタピラの組み立てには瞬間接着剤をご使用ください。
 - 塗装後に強くこすって塗料が取れてしまうのを防ぐために塗装前の下塗りをおすすめします。
※下塗りが厚塗りにならないように気を付けてください。
- 下塗り剤** (例) タミヤ スーパーサーフェイサーガイアノーツ
ガイアマルチプライマーなど
※各種下塗り剤の取り扱いには製品の注意書きをよく読んでご使用ください。

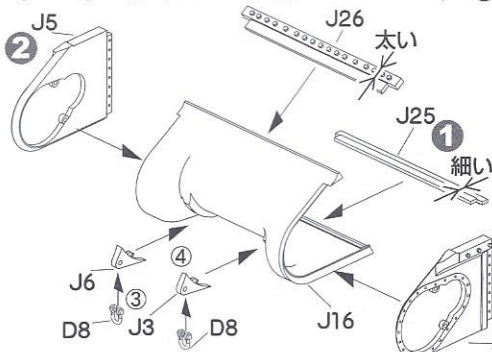
- For track assembly and paint
 - For track assembly, please use cyanoacrylate adhesive. ※Using undercoat to keep paints.
- Undercoat** TAMIYA Surface Primer primer
Gaiyanotes primer series

2 ドライブsprocketとアイドラーホイールの組立
Drive sprocket and idler wheel assembly

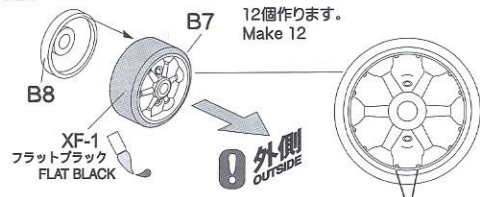


3 テアレンシャルカバーの組立 Differential cover assembly

①から④の順で組み立てます。Assemble steps ① to ④

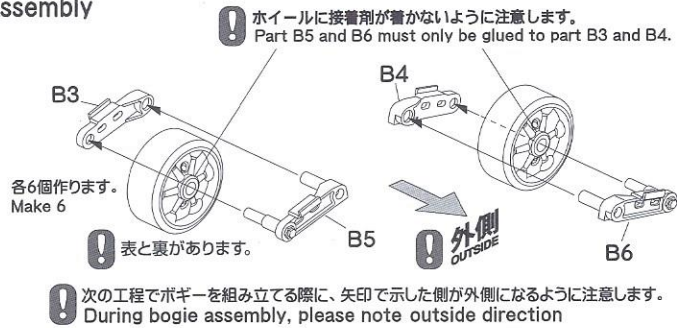


4 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly



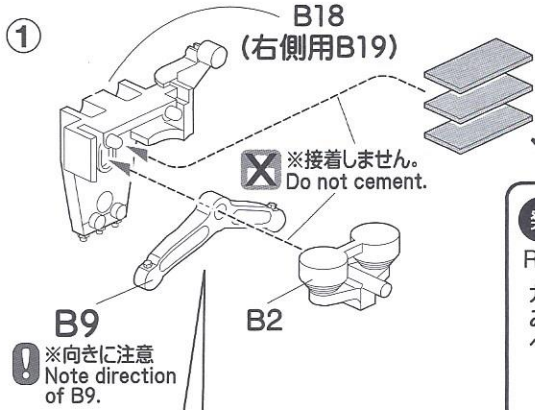
12個作ります。 Make 12

ちょっとひと手間!
部品B7にはランナー上に彫刻されている半球を使ってリベットを追加できます。
If Rivets on B sprue are added to the rim of B7



5 ボギーの組立 Suspension assembly

左右各3個作ります。サスペンションアームを組み込むまでは間を開けず一度の工程で組み立てます。図は左側用を示しています。
Make 3 for each side. Following illustration shows the left side.



発泡ゴムシート 発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの大きさにカットします。下の図を参考にカットしてください。

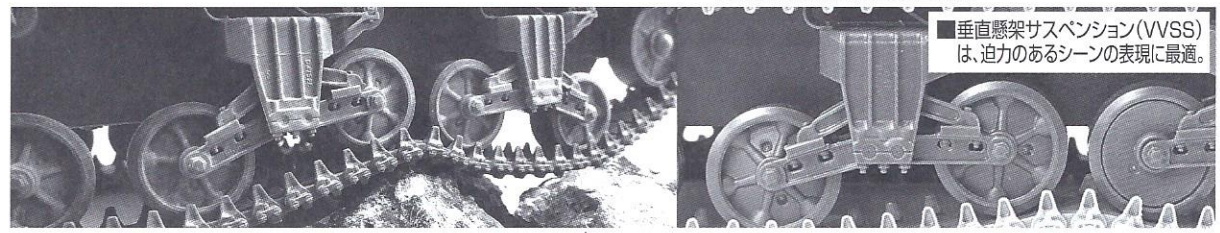
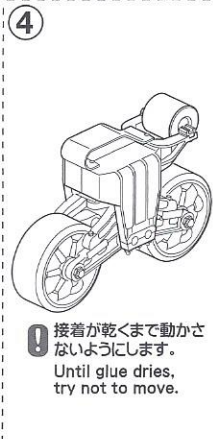
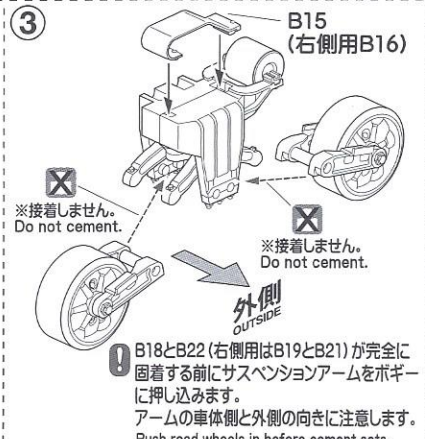
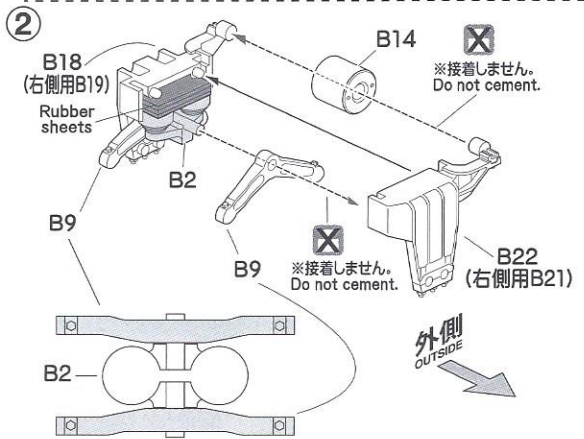
原寸 Cut rubber sheet. 4.5mm X 11mm

カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間にピンセットなどで押し込みます。3枚が標準ですが、情景などで台に固定する場合などは、前後のサスペンションを4枚にするなどしてテンションを調節します。

The foam rubber is pushed in between the bogie and suspension spring as shown in diagram. Adjust tension to taste

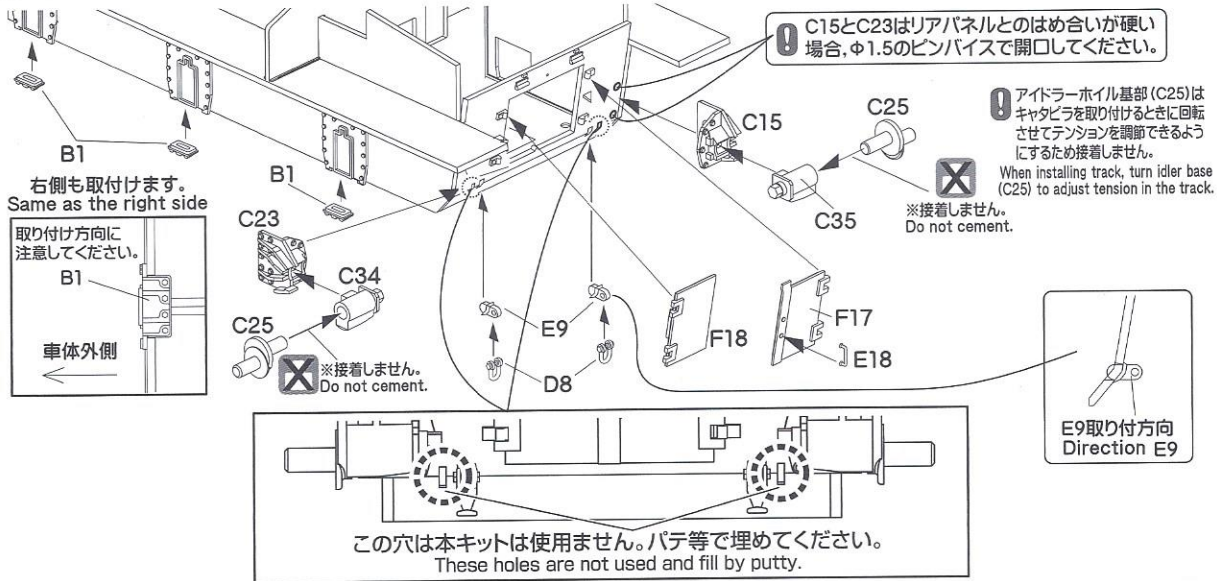
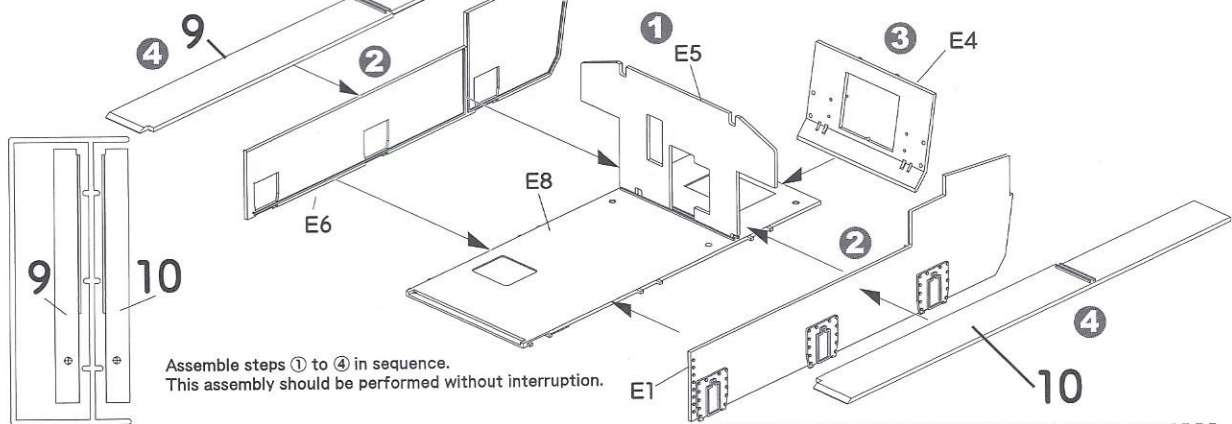
サスペンションの沈み込みの再現の必要ない場合、発泡ゴムシートを組み込まず、B2を一番下まで下げた状態(標準位置)で接着し、高さを固定する方法もあります。お客様の使用状況に応じて選択してください。

To fix the suspension, do not install foam rubber sheets and glue B2 into lowest position.

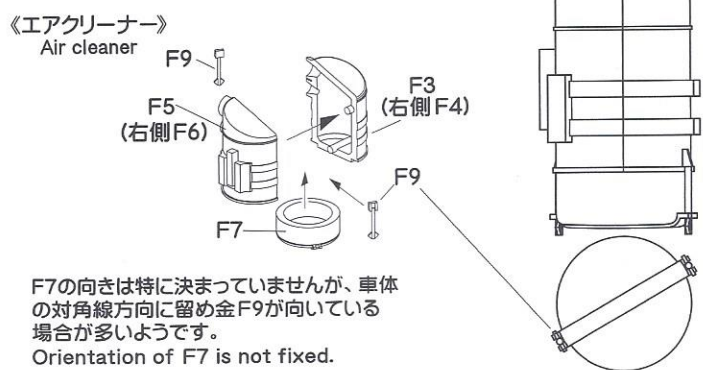


6 車体下部の組立 Hull lower assembly

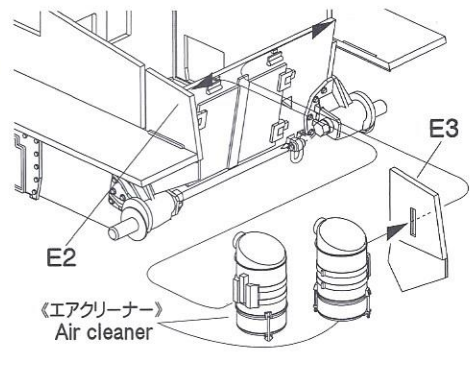
①から④の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。部品の仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。この工程は中断せずに一度に組み立てて下さい。



7 エアクリーナーの組立 Air cleaner assembly



8 エアクリーナーの取り付け Air cleaner assembly



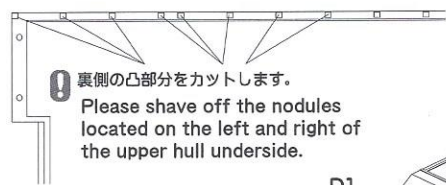
9 けん引フックの組立・取付 Towing hook assembly



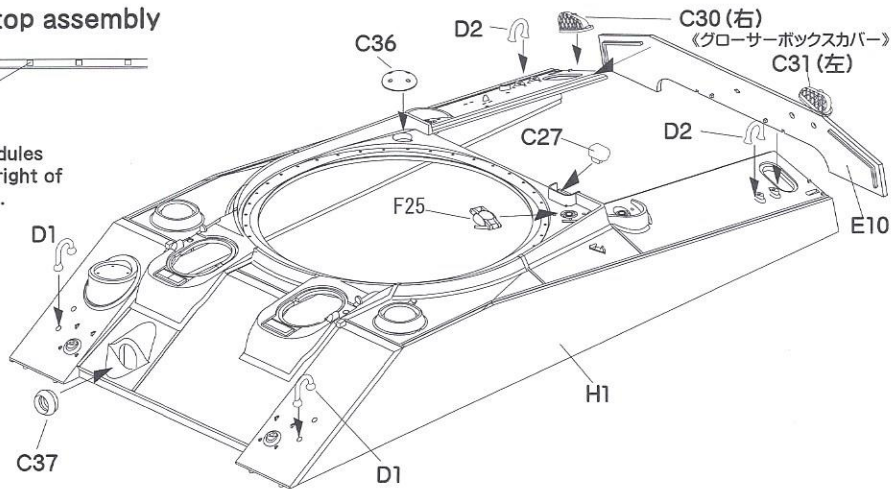
10 グローサーボックスカバーの組立 Grouser box cover assembly



11 車体上部の組立 Hull top assembly



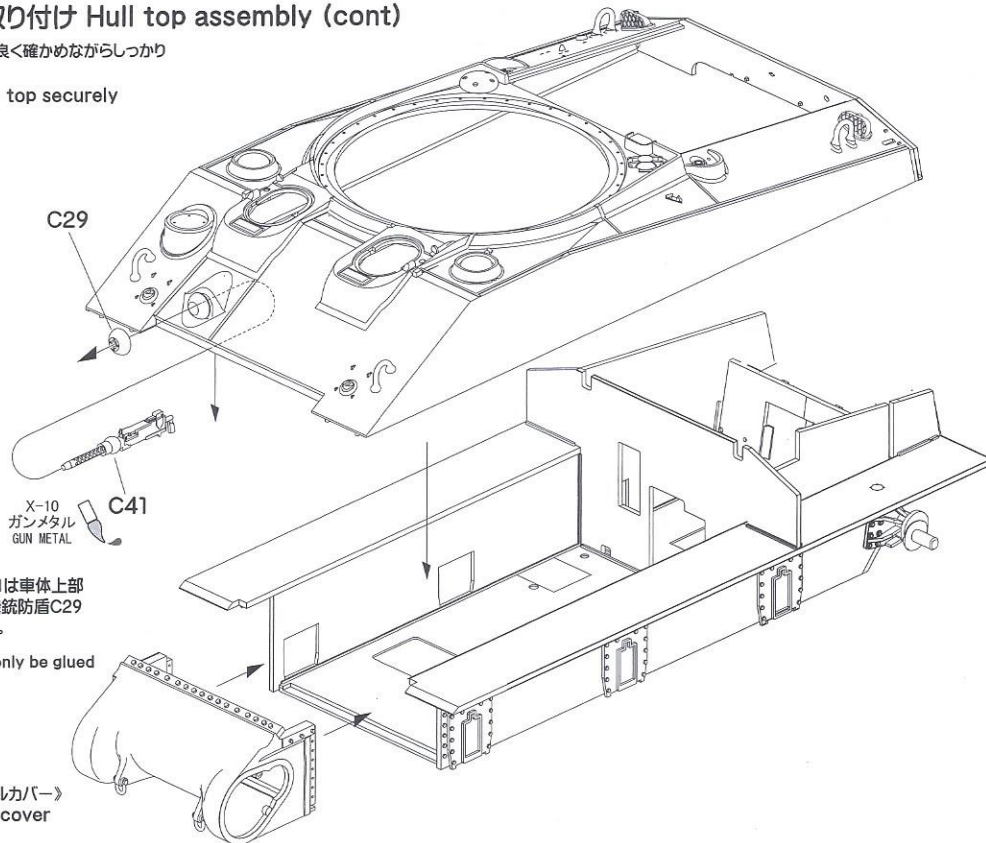
0 裏側の凸部分をカットします。
Please shave off the nodules located on the left and right of the upper hull underside.



12 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり接着してください。

Take care gluing Hull top securely



0 車体前方機銃C41は車体上部には接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。

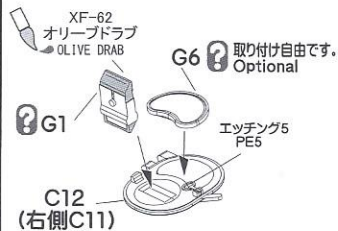
Part C41 must only be glued to part C29.

《ティファレンシャルカバー》
Differential cover

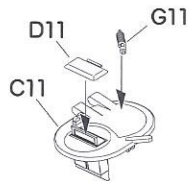
13 ドライバースハッチの組立 Drivers hatch assembly / Hatch reverse side assembly

《ハッチ裏側の工作》

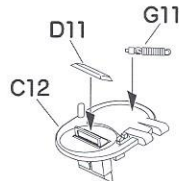
G6は取り付け自由です。ペリスコープ(G1)は透明か色付きの部品を選びます。
The periscope (G1) is a clear part. Paint as per the color annex



《右 Right》

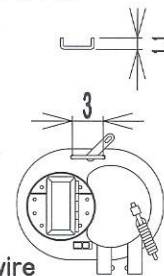


《左 Left》



ちょっとひと手間!

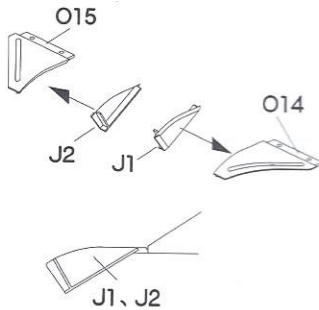
Φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取手を付けるとよりリアルに仕上がります。右の原寸図を参考に工作してください。



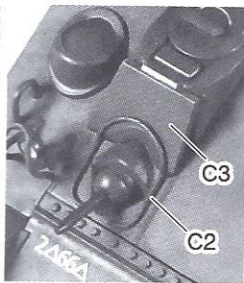
For Detailup
Using Φ0.3 brass wire for handles. (Not included)

14 車体上部部品の取り付け Hull upper part installation

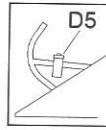
《フロントフェンダー》
1ピース型用
Front fender
1 piece models



S=1/1
《フロントフェンダー側面図》
Note: J1, J2 position

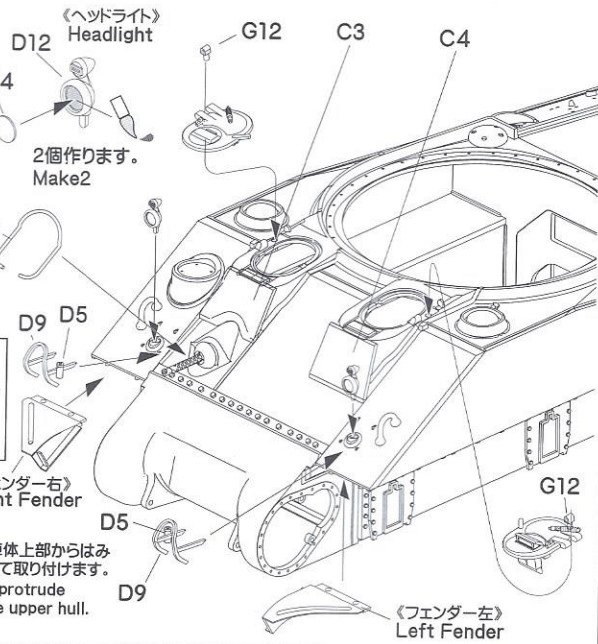


C2とC3は、
写真を参照しながら
取り付けてください。



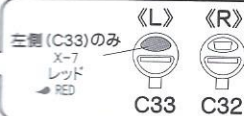
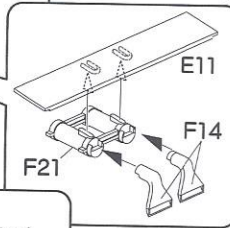
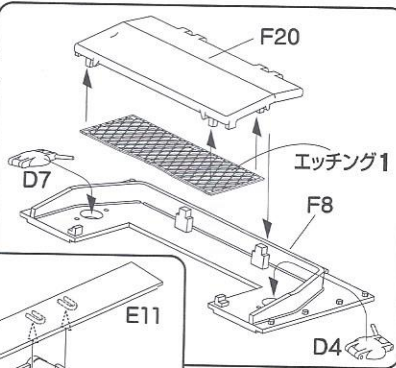
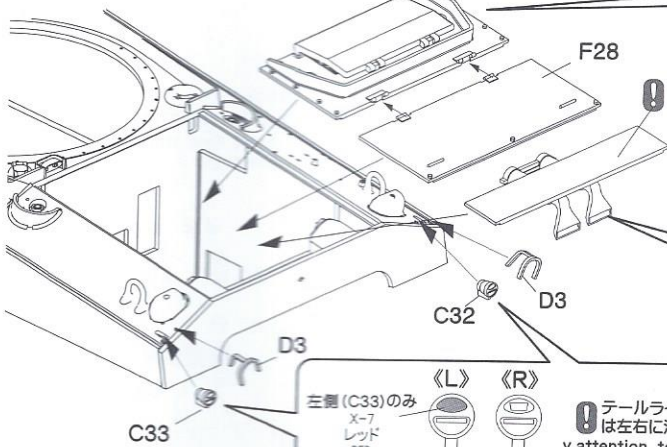
《フェンダー右》
Right Fender

左右のフェンダーは車体上部からはみ出さないように注意して取り付けます。
Fender should not protrude past the side of the upper hull.



《フェンダー左》
Left Fender

15 エンジンデッキの組立・取付 Engine deck assembly·installation

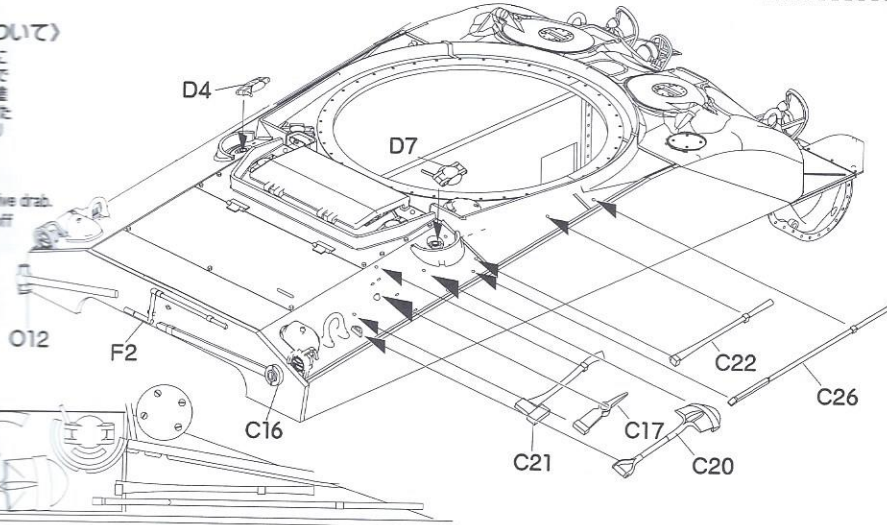


テールライト (C32・C33) は左右に注意します。
Pay attention to distinguish left (C33) from right part (C32).

《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個々の塗装指示はしてありませんが、使用中に色はげたり、汚れなどの表現をすると、車両に近づきリアルになるでしょう。

Hull Accessories Painting Guide
American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

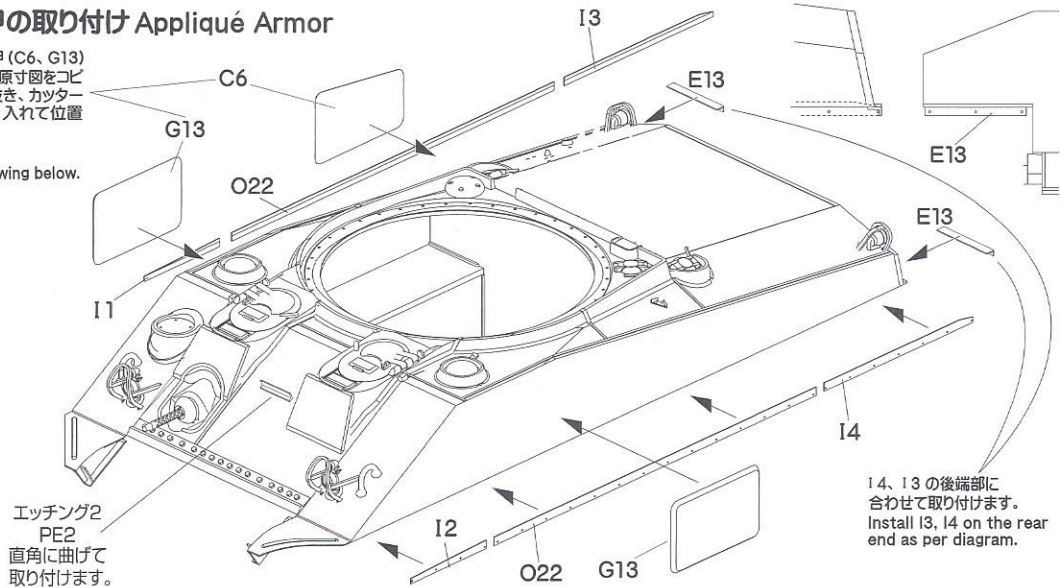


Scale=1/1

16 増加装甲の取り付け Appliqué Armor

車体側面に増加装甲 (C6、G13) を取り付けます。下の原寸図をコピーするなどして切り抜き、カッターなどで軽くケガキを入れて位置合わせをします。

C6、G13
Position as per drawing below.

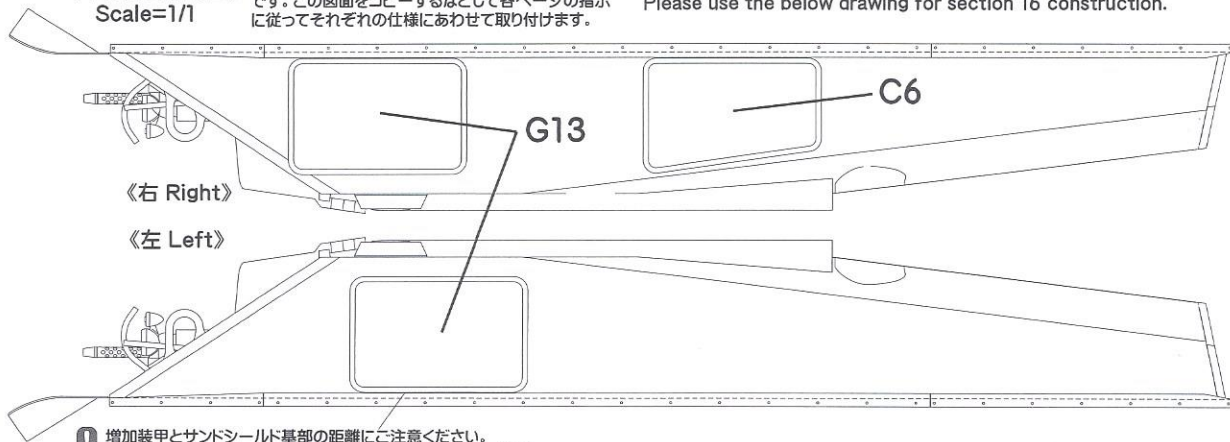


エッチング2
PE2
直角に曲げて
取り付けます。

I4、I3の後端部に
合わせて取り付けます。
Install I3, I4 on the rear
end as per diagram.

《車体側面原寸図》 サンドシールド基部と増加装甲の位置を示した原寸図
Scale=1/1 です。この図面をコピーするなどして各ページの指示
に従ってそれぞれの仕様に合わせて取り付けます。

Please use the below drawing for section 16 construction.



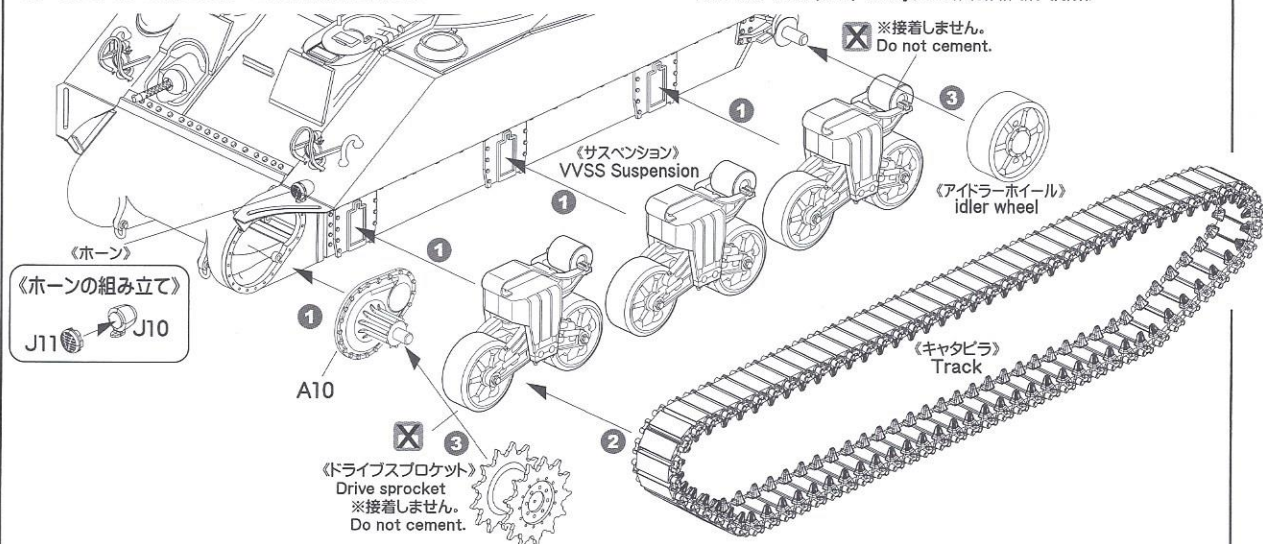
❗ 増加装甲とサンドシールド基部の距離にご注意ください。
Pay attention to keep distance of G13 and O22.

17 キャタピラの取り付け VVSS Suspension

車体にファイナルドライブ (A10) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブスプロケットとアイドラーホイールにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差し込みます。アイドラーホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。右側も同様に取り付けます。

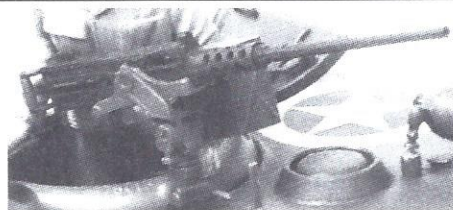
《Assemble steps ① to ③》

- ① Install A10 and Suspensions. Allow cement to dry.
- ② Track wrap around drive sprocket and idler wheel.
- ③ Drive sprocket and idler wheel are installed to hull with track.
Turn idler base (C25) to adjust tension in the track.



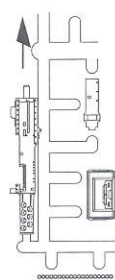
18 M2重機関銃の組立 M2 Machine gun assembly

このページではキューポラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。



A 機銃本体の組立

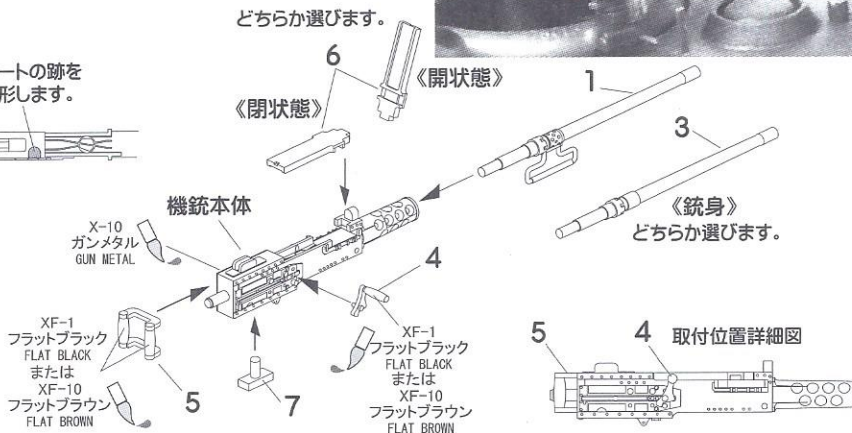
ランナーから機銃本体を引き抜きます。



ゲートの跡を整形します。

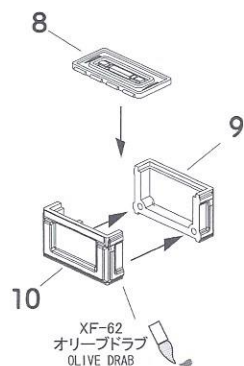


どちらか選びます。

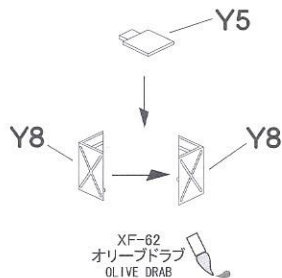


B 弾薬箱の組立

《100発用弾薬箱》

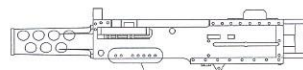


《50発用弾薬箱》

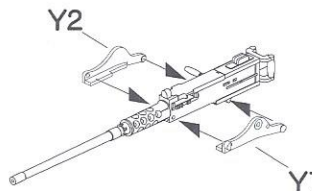


C 揺架の取付

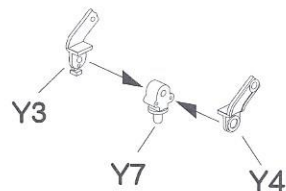
機銃本体を取付けず揺架のみで組み立てることもできます。
この場合は接着部分が非常に小さくなるので注意して下さい。



揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



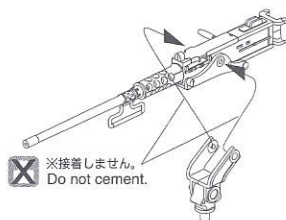
D ピントルの組立



前 Front 後 Back
Y7の向きに注意して下さい。
Pay attention to the direction of Y7

Scale=2/1

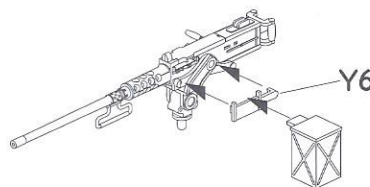
E ピントルの取り付け



※接着しません。
Do not cement.

揺架左右Y1・Y2の凹みにピンY3・Y4の凸部をはめ込みます。

F 弾薬箱の取り付け



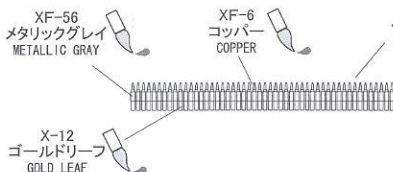
《50発用弾薬箱》
弾薬箱の取り付けは自由です。

《予備銃身》



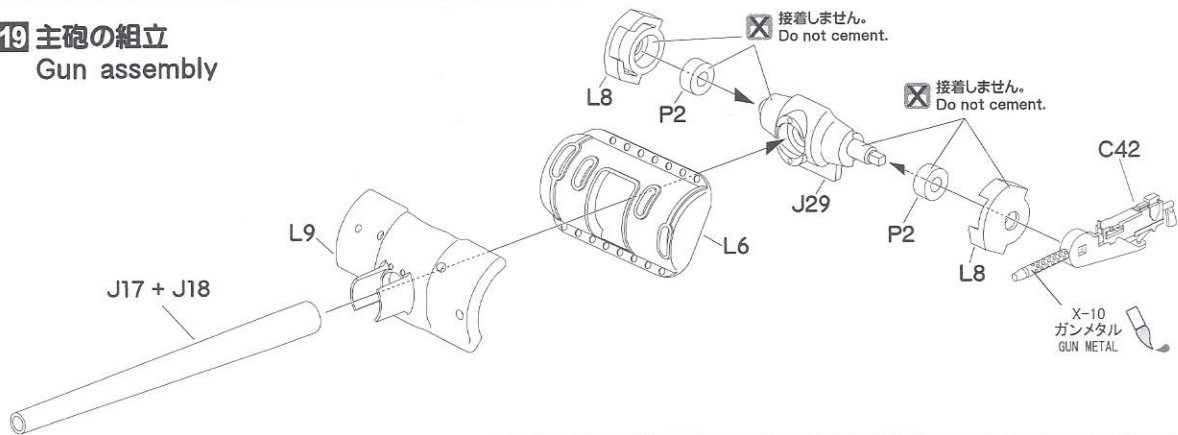
本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。

《弾薬》



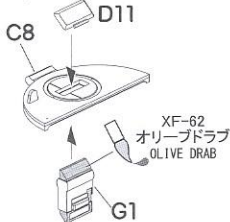
弾帯はお湯に浸けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。

19 主砲の組立
Gun assembly

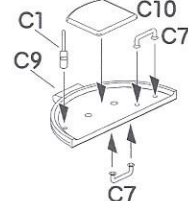


20 砲塔部品の組立
《コマンダースハッチ》
commander's hatch

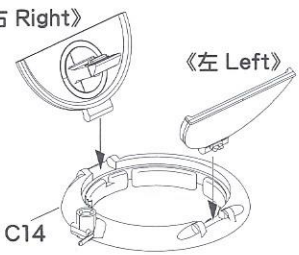
《右 Right》



《左 Left》

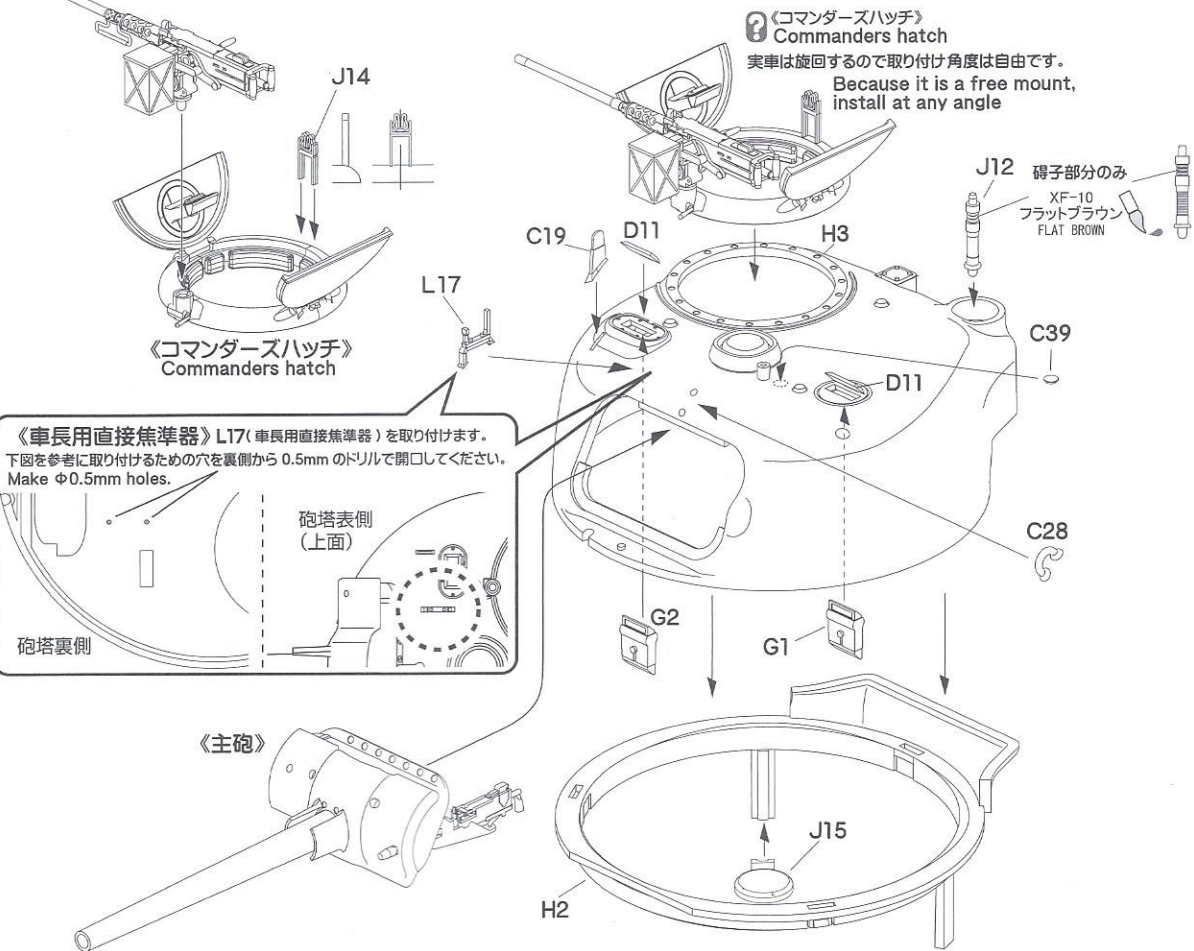


《右 Right》

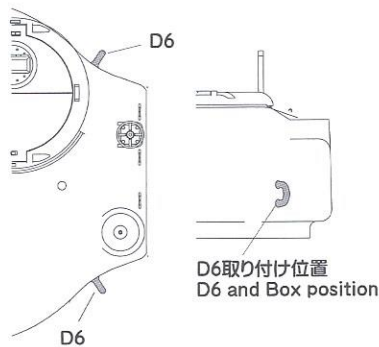


21 砲塔の組立 Turret assembly

《M2重機関銃》別紙で組み立てた機関銃を差し込みます。組立説明は 7ページをご覧ください。
Install M2 machine gun Refer to painting instruction sheet page 7.

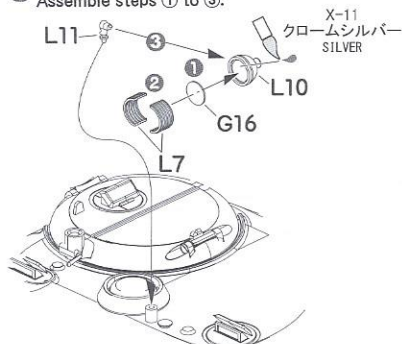


22 砲塔部品の組み立て Turret assembly



《サーチライトA》 Searchlight A

① 1~3の順番に組み立てを進めてください。
Assemble steps ① to ③.



砲塔上面にある支柱に差し込みます。
Install either searchlight A on the turret.

《ワイヤーロープ》 Tow cable

XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

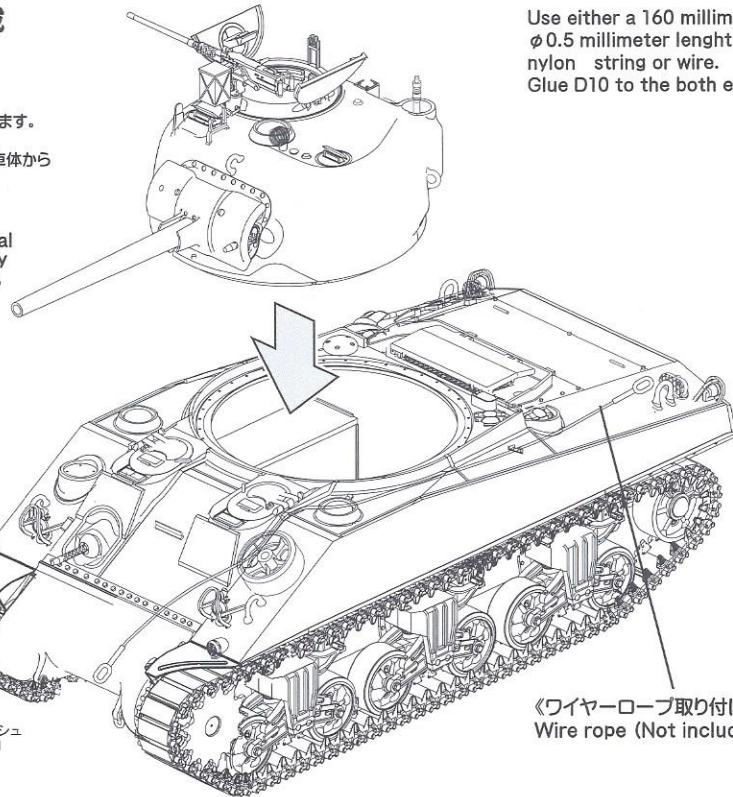
ワイヤーロープを取り付ける場合は、
φ0.5ミリ程度の市販のナイロン紐や
ワイヤーを160ミリの長さで切り出し
両端にD10を接着します。

Use either a 160 millimeter
φ 0.5 millimeter length of
nylon string or wire.
Glue D10 to the both ends.

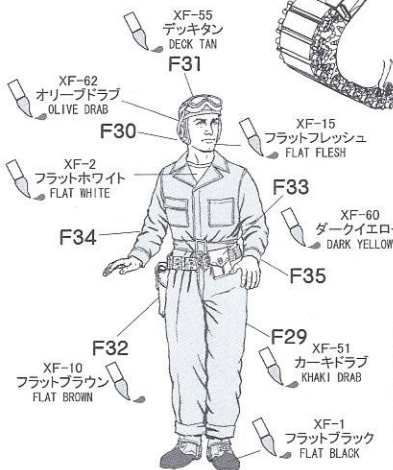
23 M4シャーマン後期型の完成 M4 Sherman Late Completion

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。
360度どの方向からも着脱が可能です。
砲塔を外すときは持ち所に注意しながら慎重に車体から
持ち上げます。

Push the turret horizontally to the
body. The turret is pushed in until
there is click. Installation and removal
is possible from 360 degrees in every
direction. When removing the turret,
raise from the body carefully.

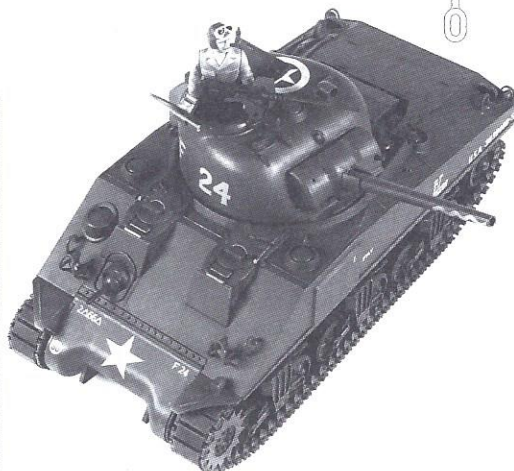


24 人形の組立 Soldier Figure



《戦車兵の服装について》

このキットの戦車兵は、HBT（ヘリンボーン・ツイル）
のつなぎの作業服にタンクヘルメットを被った第2次
大戦中のアメリカ戦車兵の標準的スタイルを再現して
います。腰のピストルベルトにコルト・ガバメントの
ホルスターと弾薬ポーチ、ヘルメットにはゴーグル
を取り付けています。
作業服は明るめのOD色、ピストルベルトと弾薬ポーチ
はダークイエロー、タンクヘルメットはOD色、ホ
ルスターは茶色でした。
各部の塗装は上図を参照してください。



《ワイヤーロープ取り付け例》
Wire rope (Not included)

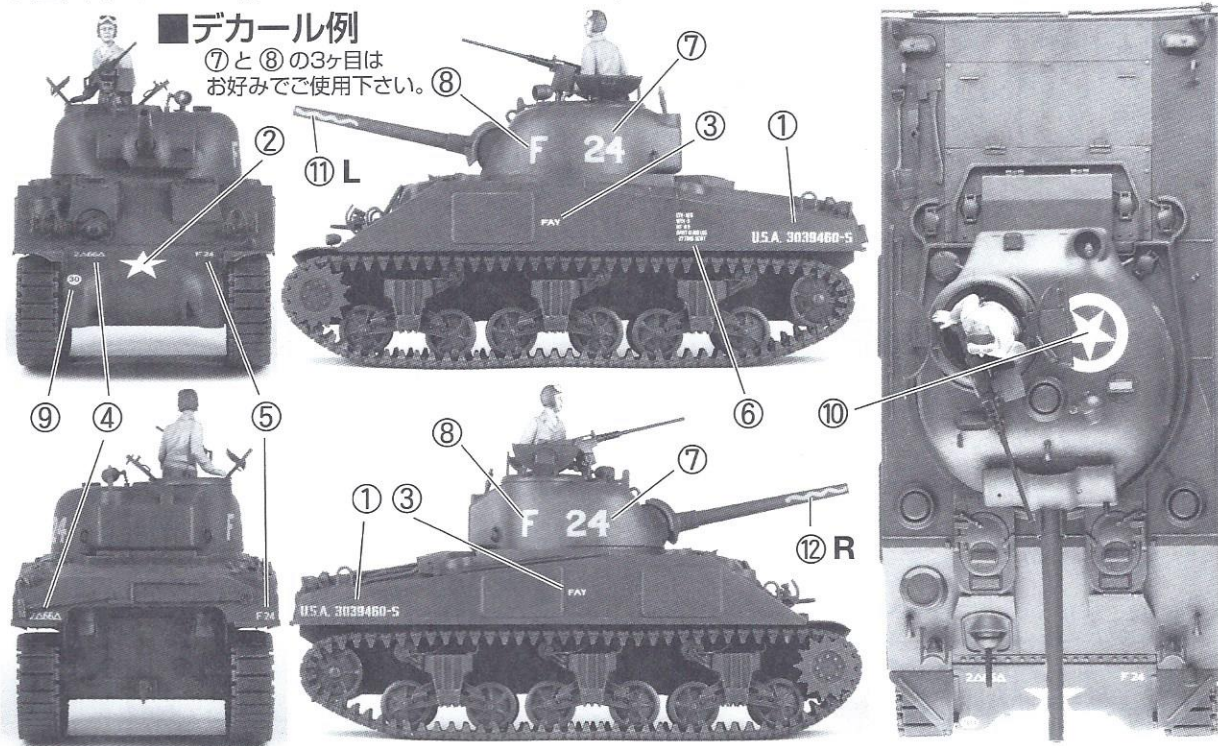
◆第二次世界大戦でアメリカが開発、アメリカ軍はもちろん連合軍各国に供与、貸与されるなど、多数が運用され連合軍勝利の原動力となった戦車がM4シャーマン戦車です。第二次大戦初期、戦車を中心とした機動力を生かした電撃戦を展開して戦いを有利に進めたドイツ軍に、対抗する近代的な戦車が急務となった連合軍は開発を加速。アメリカは生産開始されたばかりのM3中戦車の車体をベースに1941年5月、T-6試作戦車を製作。1941年10月にはM4中戦車として制式化しました。シャシーはM3中戦車の車体を利用。車体上部を新たに設計することで開発期間を短縮したのです。エンジンにはM3中戦車と同様、コンチネンタル星型空冷9気筒ガソリンエンジンを搭載。足回りも垂直渦巻スプリング・ボギー式VVSSサスペンションをそのまま使用しています。大きく異なっているのは75mm戦車砲を搭載した全周旋回砲塔を装備する車体上部を持つことでした。制式化されたM4中戦車は11社にも及びメーカーが参加して1942年2月から生産を開始。まさにアメリカが誇る工業力を結集した生産体制が作られて、量産がはじめられたのです。多くのメーカーが参加したため、生産の都合などによりM4中戦車には仕様異なるタイプが数多く誕生しています。その中で、最初に量産が始まったのは鋳造車体を使用したM4A1タイプで続いて量産に入ったのが溶接車体を使用した最初のタイプ、M4でした。車体には圧延防弾鋼板を使用し、装甲厚は12.7mmから88.9mm。R-975星型空冷エンジンを搭載し、主砲に75mm砲を装備したM4は1942年から44年にかけて5072両が生産されました。初期生産型は3ピース型のギヤハウジングを備えていたタイプもありましたが、その

後、一体型へと変更。さらに、主砲防盾や砲架、車体前部ハッチの設計変更など、多くの修正が行われながら、生産が続けられたのです。北アフリカ戦線を皮切りにヨーロッパ戦線、太平洋戦線にも投入。イギリス軍に配備されたM4は1942年2月に北アフリカ戦線で初陣を飾り、アメリカ軍も11月にチュニジア戦で運用を開始しました。

◆単体での性能は決してとびぬけたものではなく、被弾すると炎上しやすいという弱点を持つほか、75mm砲も威力が十分とは言えませんでした。しかし、アメリカの大量生産技術は圧倒的な数的優位を生み出したことに加え、広い室内スペースによるクルーの作業のしやすさ、故障の少ない機械的な信頼性の高さ、整備性も高く、だれでも操縦できる操作性の良さなど、総合力の高さでドイツ軍を上回って見せました。戦場投入初期こそ実戦経験のないアメリカ軍は大きな被害を出しましたが、経験を積んで練度を高めたM4シャーマンとそのクルーたちは終戦まで活躍を続け、連合軍勝利の原動力として活躍を続けたのです。連合軍反撃の足掛かりとなった1944年6月のノルマンディ上陸作戦でも連合軍の主力戦車であったことは言うまでもありません。その中でアメリカ陸軍の第2機甲師団に所属するM4に「FAY」のマーキングを施した車両がありました。この車両は1943年第3四半期にブルマンスタンダード自動車製作所によって生産された車両のひとつでした。ノルマンディ作戦の上陸地点の中でもっとも過酷で激戦が繰り広げられたことで知られる「オマハビーチ」に1944年6月9日に上陸。アメリカ第2機甲師団第66連隊Fカンパニーに所属していた「FAY」も激戦の中、ドイツ軍を相手に活躍したのです。

■デカール例

⑦と⑧の3ヶ目は
お好みで使用下さい。⑧



《不要部品》Not used.

- A 部品 3~7, 11, 12
- B 部品 10~13, 17, 20, 23~29
- C 部品 5, 13, 18, 24, 38, 40
- D 部品 13 | G 部品 4, 5, 7~10, 15
- E 部品 7, 12, 14~17
- F 部品 1, 10, 12, 13, 15, 16, 19, 22~27
- J 部品 7~9, 13, 19~24, 27, 28
- L 部品 1~5, 10, 12~15, 18~23
- I 部品 8 | O 部品 19~21, 23
- ポリキャップ (poly cap) 1
- エッチング (photo etched parts) 4, 6

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手数のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / 電話 / FAX での受付

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

E-mail info@asukamodel.com
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103

〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30
有限会社アスカモデル 部品請求係

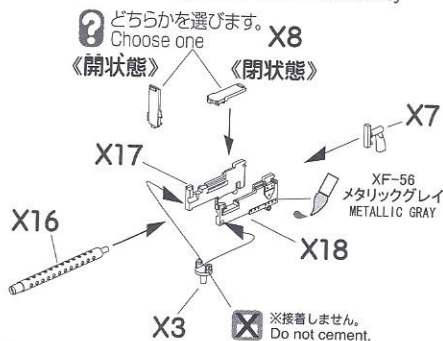


I.F.S.
Idea Free Style

自由な発想でアレンジを加えて、オリジナリティを生かしたモデリングに挑戦。模型ならではの楽しさが広がる模型作りを提案します。
《Idea Free Style》
Your model is made with your feelings.

機銃M1919A4の組立て

M1919A4の単品としての組立て説明図です。
M1919A4 Machine Gun Assembly

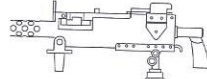


《機銃本体》

XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

X15

《揺架用》Cradle



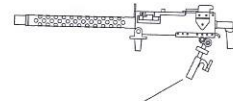
X15の向きに注意します。
Note direction of X15

② どちらかを選びます。
Choose one

XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

X21

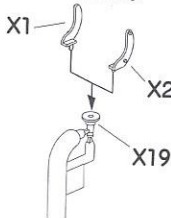
《三脚架用》Tripod



X21取付け角度
X21 installation angle

ピントルの組立て

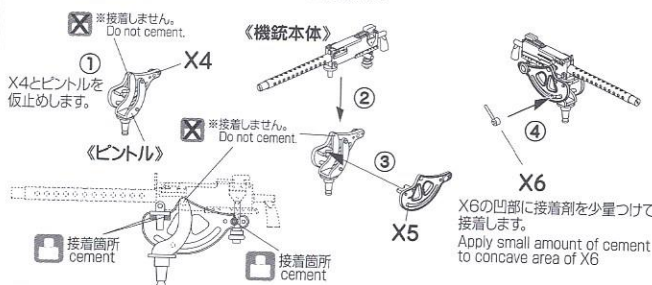
ピントルと揺架は車体色で塗装します。
Paint the pintle and cradle same color as body.



ランナーを一部残したまま組立て、完成後に切り取ります。
Cut X19 off the sprue after completing assembly.

揺架の組立て

Assemble Section 3 subparts 1 to 4 in order.
① Attach X4 to pintle from the assembly section 2.
② Then attach machine gun.
③ Install X5.
Cement is applied to the front and back of parts X4 and X5.
④ Install X6.



弾薬箱の組立て

《弾薬箱 A》

XF-62
オリーブドラブ
OLIVE DRAB

X11

X13

X12

《弾薬箱 B》

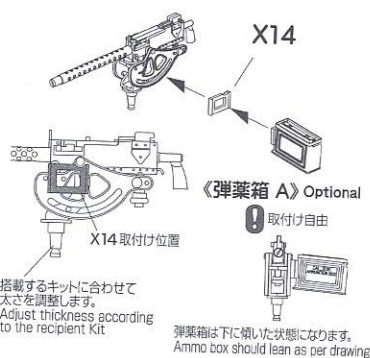
XF-62
オリーブドラブ
OLIVE DRAB

X11

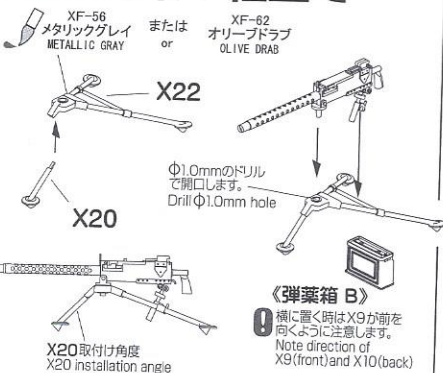
X10

X9

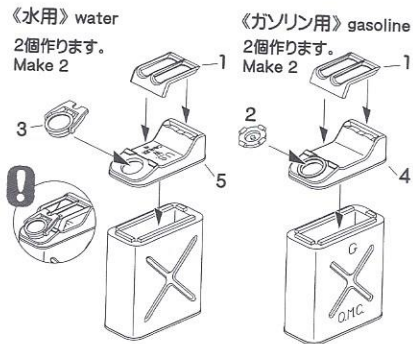
弾薬箱の取付け



三脚架の組立て



ジェリカンの組立て

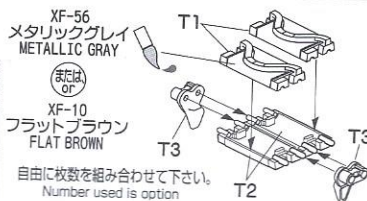


補助キャタピラ

Tracks as extra armour

① キャタピラは接着剤が乾く前に車体に沿って曲げて取り付けます。
The tracks are put on the tank surface, before the glue dries.

② 車体には、他のアクセサリより先に取り付けて下さい。
After that put the accessories.



「防水カバー」用アルミシート

○ プラスチックへの《接着》には、文具用の「のり」を使うことができます。

○ アルミシートは塗装も可能です。
※余白で試し塗りをすると良いでしょう。

使い方のヒントは「さぼーとBlog」をご覧ください。

<http://asuka-support.blog.jp/archives/1034059820.html>



アスカモデル
インターネットショップ

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/asukamodel-netshop/>



今回特別に付属する豊富なアクセサリパーツの他にも「アスカモデル・インターネットショップ」でその他の各種パーツをお求めいただけます。ぜひ、「あなただけの」シャーマン制作にお役立て下さい。

